

# 貸借対照表

(株)ドコモCS関西

2021年3月31日現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	11,993,606	流動負債	7,720,964
現金及び預金	66,526	買掛金	3,276,245
売掛金	5,300,236	リース債務	42,244
未収入金	753,838	未払金	2,426,546
商品	69,007	未払賞与	1,186,907
前払金	140,986	未払事業所税	15,054
前払費用	184,148	未払法人税等	217,223
預け金	5,429,157	未払消費税等	507,891
その他流動資産	49,710	預り金	47,424
		その他流動負債	1,430
固定資産	4,972,513	固定負債	3,931,272
有形固定資産	1,523,184	リース債務	111,856
建物	344,474	退職給付引当金	3,426,452
建物附属設備	536,288	資産除去債務	359,700
構築物	17,629	その他固定負債	33,264
機械及び装置	38,429		
工具・器具及び備品	434,034		
リース資産	152,330		
無形固定資産	64,187		
ソフトウェア	41,704		
電話加入権	22,483		
投資その他の資産	3,385,142		
差入保証金	959,862		
前払年金費用	474,744		
繰延税金資産	1,916,188		
その他の投資	35,583		
貸倒引当金	△1,235		
		負債合計	11,652,236
		純資産の部	
		株主資本	5,313,883
		資本金	50,000
		資本剰余金	60,000
		利益剰余金	5,203,883
		利益準備金	12,500
		その他利益剰余金	5,191,383
		繰越利益剰余金	5,191,383
		純資産合計	5,313,883
資産合計	16,966,119	負債及び純資産合計	16,966,119

## 個 別 注 記 表

### 【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

#### 1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品のうち、ドコモ商品については先入先出法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっています。その他については、個別法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっています。

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

##### (1)有形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっています。

なお、耐用年数については見積り耐用年数、残存価額については実質残存価額によっています。

##### (2)無形固定資産

定額法によっています。

なお、耐用年数については見積り耐用年数によっています。

また、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年以内）に基づく定額法によっています。

##### (3)リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

定額法によっています。

なお、耐用年数についてはリース期間、残存価額については零としています。

#### 3. 引当金の計上基準

##### (1)貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、破産更生債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

##### (2)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当事業年度末において発生している額を計上しています。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっています。

なお、数理計算上の差異については、発生年度に全額を費用処理しています。

また、過去勤務費用については、発生時の従業員の平均残存勤務期間に基づく年数にわたって定額法により費用処理しています。

#### 4. 収益及び費用の計上基準

##### 完成工事高及び完成工事原価の計上基準

当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事契約については工事進行基準を適用し、その他の工事契約については工事完成基準を適用しています。なお、工事進行基準を適用する工事の当事業年度末における進捗度の見積りは、原価比例法によっています。

#### 5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

##### (1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方法によっています。

##### (2) 連結納税制度の適用

当事業年度より、日本電信電話株式会社を連結納税親会社とする連結納税主体の連結納税子会社として、連結納税制度を適用しております。

#### 【その他の注記】

##### (当期純損益額)

当期純利益 1,378,620 千円